

# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 教育学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

私は韓国ドラマが大好きで、ドラマに登場する食事や建築物、伝統的な衣装にとっても関心を持っていた。しかし、私の知識は「見たことある」程度で止まってしまっていた。そのため、実際に見る、食べる、体験することを通してより深く韓国の文化について理解し、さらに、異文化に触れることで、日本の文化や特徴を自分なりに考え直してみたいと思い、この研修の参加を決めた。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

授業に関して言えば、名古屋大学の歴史をはじめ、日本文化やグローバル人材についての授業、また韓国での韓国文化、政治、景観の授業すべてが、「私」という存在を深く考えるきっかけになった。数ある中の、日本文化の中で育った「私」、また名古屋大学の学生として学ぶ「私」。今に至る過程の中で、さまざまな特性が私に加わり、現在の自分を形作っていることを意識し、そんな自分が何をできるのかを探していきたいと思うようになった。また、授業の中には、日本と朝鮮の歴史的な関わりを題材にしたものも多く、改めて両国の深い結びつきを感じた。それと同時に、日本では、歴史的背景があまり重視されず、現在の政治的な関係がそのまま「韓国」のイメージになってしまっているように思えた。反日を訴える人、激しいデモを起こしている人など、私たちがニュースなどで見る「韓国」の姿はあくまで一部であることを忘れず、今回の研修で、私が新たに見つけた「韓国」を発信していきたいと思った。

日本文化のプレゼンテーションでは、全体の構成やスライドの作り方などの一般的なプレゼンテーションに対する知識はもちろん、言語以外にも、日本の政治的な背景や、古くから根付いている考え方など、補足を加える部分が多くあるなどの、特別な注意点も知ることができた。また、日本での準備段階においても、日本や日本文化について考え直すよい機会になった。もともと苦手ではなかったものの、このプレゼンテーションを通じて、人前で話したり、何かを発信するという力が高まったと思う。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

研修前に自分が立てた目標の中に、「視野を広げること」があった。しかし、海外で生活し、日本との共通点・相違点どちらも見つけていくことを実際に経験して、ようやく「視野を広げる」というのがどういうことか分かったように思う。私が考えるに、「視野の広がり」には2種類ある。1つ目は、異文化に触れて物事に対する違った考え方を知ること、自分が何かを考える際、その考え方の選択肢を増やすということ。もう1つは、日常生活の中で多くの点に注目できるようになり、自分の気づきが増えることである。研修前は、海外へ行くという経験自体が何か特別な力を持っていて、私を賢くしたり、変化させる、このようなことをぼんやりと考えていた。しかし実際には、急に賢くなったり、生活が激変することはなかった。ただ、自分の現実の捉え方が変わるのだということに気付かされた。もし次の機会もあるならば、韓国以上に日本と文化が大きく異なる国で生活し、今の自分にはない考え方や視点を増やしていきたいと思っている。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

特に私は、今回が初めての海外経験だったため、書類不足や記入漏れがないかどうかや、飛行機の荷物のルールなどを、渡航前から念入りに調べた。また韓国では、政治情勢の影響でデモが多く起きていたため、たびレジからのメールや行動を共にした韓国人の方から、安全に関する情報を積極的に得るようにした。1度、デモの影響で交通規制をしている道を通らなければいけない場面があって、困ったことがあったが、警備員の人が日本語で対応してくれてとても助かった。落ち着いた行動を心がけ、現地の方にきちんと従えば、危険な目に合うことを防ぐことができるとわかった。

#### 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                      | おおよその額    | 備考            | 支払方法       |
|-------------------------|-----------|---------------|------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険          | 90,000 円  |               | 振込         |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費） | 80,000 円  | = 791,000 ウォン | 国立木浦大学校へ支払 |
| 各自での食費                  | 15,000 円  | = 150,000 ウォン |            |
| 各自での交通費                 | 2000 円    | = 20,000 ウォン  |            |
| その他（小遣い）                | 45,000 円  | = 450,000 ウォン |            |
| 計                       | 232,000 円 |               |            |

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

- 韓国では、たくさんの種類のおかずをみんなで分けて食べます。他にも、コンビニやスーパーでは、2個買えばもう1つおまけでついてきたりします。日本以上に分け合う精神、集団の意識が高いなと感じました。この雰囲気のおかげで、研修のメンバーともより仲良くなれた気がします！
- 衣装体験がおすすめです！今回は一般的な韓服と、百済の衣装も着ましたが、かなり違いがあって面白かったです。
- スーパーやコンビニの売り物を見るのも楽しいですよ。特にお菓子は、日本のものとそっくりなものが多いです。でも実際に食べてみると味は微妙に違ったりします。食べ比べてみるのもいいですね。また、日本製品がそのまま売っているときもあるので、探してみてください。
- N ソウルタワーの夜景が本当にきれいでした・・・！
- 韓国の本屋で、あえて日本語の会話表現の本を買いました。日本語が書いてあるから意味も分かるし、掲載されている韓国語も自然なものが多いので、日本に売っているテキストよりもいい気がします！韓国語の勉強をしたい方におすすめです！

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 工学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

幼いころはよく家族で海外旅行に行っていました。様々な事情により最近では海外へ行くことができませんでした。しかし、海外との結びつきが強くなっている今、自分とは異なる文化、価値をもった人たちと関わる機会も多くなっていくと思います。だから、海外に行っている人々とコミュニケーションをとりたいと思っていました。そうしたときに友人の紹介でこの研修があることを知り、参加したいと思いました。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

名古屋では韓国の文化や歴史について学び、現地に行ったときにより韓国について理解を深め、楽しめるようになれるような授業がありました。また、現地で行うプレゼンテーションを作ることによって、日本の文化に興味をもち調べるとともに、それを他の人にわかりやすく伝えるためにスライドや話す内容を工夫することができました。韓国では韓国語や文化、建築、医学など幅広く韓国について学びました。また実際に歴史的な建造物を見ることもできとても貴重な経験となりました。ホームステイでは旅行では味わえない現地の人たちの日常生活をすることができました。その他、言葉が思うように通じないため、より相手の気持ちを思いやる大切さを学びました。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

韓国はキムチで有名ですが、本当に毎食キムチがでてきて驚きました。また、各家庭にはキムチの冷蔵庫がありとても愛されていることが分かりました。日本と距離的に近い国で、文化も似ていましたが、言葉の使い方においても少し違いがあり、たくさん違うところもみつけることができました。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

パスポートをなくさないようにする、健康を第一に考える、貴重品は常に身につける

## 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                      | おおよその額 | 備考       | 支払方法       |
|-------------------------|--------|----------|------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険          | 1万円    |          | 振込         |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費） | 9万円    | = 90万ウォン | 国立木浦大学校へ支払 |
| 各自での食費                  | 1万円    | = 10万ウォン | 現金         |
| 各自での交通費                 | 1万円    | = 10万ウォン | 現金         |
| その他（小遣い）                | 3万円    | = 30万ウォン | 現金         |

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 理 学部 1 年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

友達に誘われて今回の研修を知りました。ちょうど海外に行ってみたいと思っていたこともあり参加することを決めました。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

日本と韓国には古くから交流があり、互いの文化にそれぞれ影響を及ぼしあっていた。韓国語の中には日本語と似た発音で意味が同じものがある。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

海外では水道水が飲めないこともあるので水を買うことが重要だと思いました。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

薬を海外で買うのは不安もあるのである程度持参する方がいいと思った。

## 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                          | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|-----------------------------|--------|----|------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険              | 円      |    |      |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・<br>交通費・通信費） | 円      |    |      |
| 各自での食費                      | 円      |    |      |
| 各自での交通費                     | 円      |    |      |
| その他（小遣い）                    | 円      |    |      |
| 計                           | 15万円   |    |      |

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 経済学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

入学前のガイダンスにて、短期留学のプログラムがあることを知った。留学は大学生のうちにはできない貴重な経験だと思い、履修することを決めた。また今回もプログラムは約2週間の短期研修だということもあり、留学経験の第一歩としての良い機会だと考えた。また、韓国という国に対して、非常に関心があり、旅行ではなかなか経験することのできない学生交流もできるという点も履修のきっかけとなった。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

渡航前にグローバル人材についての授業があった。グローバル人材とは、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解などの力を持っている人のことであるということ学んだ。研修中、学生交流や文化体験、視察などを通して、これらの力を向上させるきっかけが様々な用意されていた。特に、コミュニケーション能力や語学力の向上は実際に現地の方々とは話をしよう、考えを伝えよう、という意識から始まるのだと実感した。研修中は、自ら日本との違いや、共通点を発見し、それについて考えたり、現地の方の考えを聞いてみたいしようと意識し、少しの成長かもしれないが、主体性を向上させることができたと思う。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

生活面に関しては、隣国であるのだから、あまり日本と大差がないであろうと勝手に思い込んでしまっていたが、異なる部分を多く発見した。中でも特に異なると感じたのは食事である。金属製の箸とスプーンを用いて、大皿 いかからメイン料理を皆で食べるという形式だった。また食文化の講義の中で、日本では食べきれない量が出されるが、韓国ではたくさん食べてもらえるように、という思いを込めて、多めに料理を出すということ学んだ。実際にも、おかわり自由な小鉢も用意されたり、残してしまってもよいという考えがあったりと、日本の、残してしまっは申し訳ないという考え方とは大きく異なることを直接学ぶことができた。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

当たり前のことではあるが、人通りの少ない道を通らないようにすること。鞆のチャックをきちんと締めること。比較的安全な国と言われているが、危険な目に合わないよう対策した。気候に関しては、乾燥していたためマスクの着用や、寒さ対策としてマフラーや手袋を着用し風邪予防に努めた。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                          | おおよその額   | 備考        | 支払方法               |
|-----------------------------|----------|-----------|--------------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険              | 7万円      |           | 振込                 |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・<br>交通費・通信費） | 11万円     | = 110万ウォン | 国立木浦大学校へ支払         |
| 各自での食費                      | 1万円      | = 10万ウォン  | 現金 1万円             |
| 各自での交通費                     | 2000円    | = 2万ウォン   |                    |
| その他（小遣い）                    | 1万7000円  | = 17万ウォン  | 現金 0.2万円、カード 1.5万円 |
| 計                           | 209,000円 |           |                    |

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

その他の韓国の魅力としては、料理が美味しいことでしょうか。研修中に食べた料理はどれも本当に美味しくて、日本料理が恋しくなったことも正直ありませんでした。また、街行く人がお洒落だったり、コスメも可愛かったりと、そういった面でも楽しめるのが魅力の一つなのではないかと思います。

# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 医学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

母親が韓国語の勉強をしており、高校生の頃から韓国に関する話を耳にすることが多く、関心があった。このプログラムでは、首都ソウルの視察はもちろん、名大の提携校である木浦大学校で講義を受けたり、現地の学生たちと交流ができるということで、自分の見聞を深めることも韓国に友人を作ることもできそうで興味を引かれた。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

事前授業でプレゼンテーションの練習を行ったが、私はそこで日本が江戸時代に「鎖国」をしていたという表現を使った。しかし、歴史的に江戸時代に日本が本当に外国との交流を絶っていたかという点と全くそのようなことはなく、出島での欧州との交流はもちろん、漂流民なども含め、韓国などのアジア諸国との関係は存在していたようだ。先生にそのことを指摘され、「鎖国」という表現は無造作に使うのではなく、いったん立ち止まって考えてから使うか使わないかの判断をするのがよいとのご指摘を受けた。「鎖国」は義務教育時代に頻繁に使われていた言葉であり、なんの疑問もなくプレゼンテーションで使ってしまったが、研究機関である大学においては、既存の知識に関してもより事実に近くなるようにその概念が正しいのか常に自問して行く必要があることを知った。

現地での視察では、現地の学生さんが日本語に精通しており、韓国文化について多くのことを聴くことができた。学術的な文化についてはもちろんだが、より俗っぽい学生文化についても知ることができた。これは本やインターネットではなかなか得ることのできない稀有な経験であったと思う。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

日本と韓国の間で一番大きな文化の差を感じたのはやはり食事の時だった。まず食器が違う。日本では食器は陶器が一般的で、木の箸を使って食器を手に持って食べるが、韓国は金属の食器であり、手に持って食べない。そもそもスープやご飯の食器も金属なので、食器が熱くなってしまい持つことができない。食べ物自体も、全体的に赤色が多く、辛い唐辛子がふんだんに使われていた。また、食べ物は一緒にいる人と共有するのが一般的なようで、キムチやチヂミなどの付け合わせが豊富だった。また、現地の学生さんにスーパーに連れて行ってもらったのだが、スーパーの規模は大きく、レジもベルトコンベアー式であり、アメリカンスタイルだった。購入できる食品も1パックの量が多く、買いだめする方式らしい。ソウルの街の雰囲気も、日本よりもアメリカに近い様子だった。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

食事に大量の唐辛子が含まれていて、研修初めの数日はお腹の調子が悪くなったことがあったが、しばらくすると慣れて問題はなかった。渡航中はだいたい日本語のできる現地の学生さんと一緒にいたので不安に感じることは全くなかったが、少々危機感が足りなさすぎたと感じる。気を許しすぎてソウルの地下鉄駅で財布を手に持って歩いていたことがあったが、危なかったと思う。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                      | おおよその額    | 備考            | 支払方法                    |
|-------------------------|-----------|---------------|-------------------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険          | 52,000 円  |               | 振込                      |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費） | 76,000 円  | = 760,000 ウォン | 国立木浦大学校へ支払              |
| 各自での食費                  | 20,000 円  | = 200,000 ウォン | 現金 1.8 万円<br>カード 0.2 万円 |
| 各自での交通費                 | 1,500 円   | = 15,000 ウォン  |                         |
| その他（小遣い）                | 5,000 円   | = 50,000 ウォン  | 現金 0.4 万円<br>カード 0.1 万円 |
| 計                       | 154,000 円 |               |                         |



# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2017年 3月17日

所属&学年 | 教育学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

大学で第二外国語として朝鮮・韓国語を学び始め、授業で韓国の食生活や芸能、歴史について触れるうちに、今までよく知らなかった韓国という国に興味を持ち始め、実際に韓国へ行き、自分の目で見てみたいという気持ちが強まった。また、韓国について理解を深めたいと思ったことに加え、朝鮮・韓国語を実際に使い、語学力向上に役立てたいと思ったことが履修の動機であった。また、本研修が全学教養科目として開講されており、観光ではなかなか体験できない内容が豊富だったことも、履修に至るきっかけとなった。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

事前研修では、グローバル人材について、日韓関係、韓国の歴史、日本文化体験など幅広いテーマの授業を受けた。グローバル人材についての授業で、現在求められているグローバル人材とは何か、また留学を通して海外経験や海外志向を身につけることの重要性について学んだことがきっかけで、研修中に身につけたい能力を明確にし、そのためにはどのような行動を心掛けるべきかを考えることができた。他の授業でも、授業で学んだことに関して疑問を持った点、興味を持った点から、研修中に調べたいことを発見することができた。プレゼン演習の授業では、外国語での分かりやすいプレゼンテーション方法を学んだことに加え、他の受講生の発表を聞く中で様々な日本の文化について知り、日本の良さを発見することができた。密度の濃い研修にするために、事前授業を最大限利用し、最善の準備をすることができたと思う。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

留学前に目標としていた韓国の文化への理解と語学力の向上についてはよく達成できたと感じる。前者は、韓国の学生との交流や木浦大学校での講義、様々な文化体験を通して、韓国の文化に触れ、日本との差異を認識したうえで理解しようと努める姿勢を持つことができた。後者は、韓国語の授業で積極的に授業に参加したり、学生や現地の方に積極的に韓国語で話しかけたり、教えてもらったりするなど、語学力向上に向けて意欲的に行動することができた。韓国語の単語や表現を多く学んだだけでなく、韓国語を身につけようとする意欲が研修前よりも高まったことは大きな成果と言えると思う。これら以外にも、多くの能力を身につけることができた。例えば、言葉が通じなくても、コミュニケーションをとろうとする姿勢、適切な行動を自分たちで考える能力などである。本研修では、同年代の韓国の学生と一緒に過ごす時間が多かったことから、韓国の学生から刺激を受け、学んだ事柄も多い。例としては、韓国の学生の政治への関心の高さ、学習への意欲の高さに衝撃を受けた。また、自分の将来についてよく考えることの重要性も実感した。同年代の学生と関わることで、自分に足りない部分を自覚することに繋がったことは、観光ではなかなかできないことであると思われるため、非常に良い経験になったと感じている。また、大学生という限られた時期を最大限利用して、多くの経験を積むことの重要性も本研修で学んだことの一つである。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

海外では言葉が通じなかったり、連絡手段が限られてしまったりするなど、日本国内にいるときと同じようにいかない部分も多い。事前に連絡手段を確保しておくこと、緊急連絡先や非常時の対応を確認しておくことなど、事前に万一の場合の対応をよく把握しておくことが重要だと感じた。また、研修中にデモに遭遇したり、突然声をかけられたりして危険を感じることもあったことから、防犯意識を強く持つことの必要性を感じた。できるだけ複数で行動すること、情報収集をこまめに行うこと、危険が予測される場所には近づかないようにすることが重要だと感じた。

#### 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                      | おおよその額    | 備考           | 支払方法       |
|-------------------------|-----------|--------------|------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険          | 67,000 円  |              | 振込         |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費） | 97,000 円  | =970,000 ウォン | 国立木浦大学校へ支払 |
| 各自での食費                  | 13,000 円  | =130,000 ウォン | 現金 1.2 万円  |
| 各自での交通費                 | 4,500 円   | =45,000 ウォン  |            |
| その他（小遣い）                | 25,000 円  | =250,000 ウォン | 現金 2.5 万円  |
| 計                       | 206,000 円 |              |            |

自由記述欄 \*後輩へおすすしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

私が大切にしている言葉の一つに「Be greedy. 」という言葉があります。この言葉は、以前留学した時に留学準備のサポートをしてくださった先生から教えていただいた言葉です。貪欲に学ぼうとすること、その気持ちが重要だということを示しているのだと私は考えています。

今回の研修では、最初の1週間は現地の大学に通い、学生と交流しました。限られた時間ではありましたが、積極的に行動するよう心掛けた結果か、学生さんたちと良い関係を築くことができ、それによって韓国の文化や韓国語について授業や観光だけでは学べないような多くのことを学ぶことができました。

留学をするということは、未知の世界へ飛び込むようなもので、不安やためらいなどの後ろ向きの感情が生まれるのは自然なことであると思います。ただ、そのような感情に捉われてしまうのはもったいないことです。学んでやろう、と貪欲でいようとする姿勢が重要であると思います。短期の留学であろうと、学ぼうとすれば、学べることはたくさんあります。留学を考える皆さんには、是非とも貪欲な気持ちを忘れないでほしいと思います。

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2017年 3月

所属&学年 | 医学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

朝鮮・韓国語の講義を履修しており、その中で言語に限らず韓国の文化について様々な違いがあることを知り、実際に現地へ赴いて日本とは違う文化に触れることのできるこの研修に参加したいと思いました。朝鮮・韓国語の講義時にこの特別講義のアナウンスがあり、知ることができたのは有難かったです。都市部だけでなく、韓国の古都を訪れる機会があったり、韓国の方の前でプレゼンテーションをする機会があったりするのも魅力的だと思いました。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

海外研修制度や名古屋大学の歴史、韓国史、韓国と日本との関わり、木浦や扶余などの韓国の都市についてなど研修前に知っておきたい事柄について事前に講義があり、独学ではそこまで知ることができなかつたろうということも知ることができたので、渡航前の授業はとて為になるものでした。奨学金制度についても知ることができ、公費からこれだけの負担がされているのだと、研修に向けて気が引き締まったので、良かったと思います。

メールの書き方やプレゼンテーションの仕方も講義があり、すぐに実践できるものとして、とても勉強になりました。これまでもプレゼンテーションの機会はありませんでしたが、指導する方によって様式や流れも微妙に異なっていたので、体系づけて勉強できて、非常に参考になりました。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

やはり事前に知っていた以上に細かいことから大きなことまで、様々な文化の違いに気がつきました。食器や大人数でとることなど、食文化については、予想以上に違う点があり、驚く部分が多かったです。事前にインターネットなどで調べたり、情報を集めたりもしていましたが、実際に体験してみなければ分からないこともあると感じました。

市中調査時には、日本語が話せる方がいたり、日本語の標識があつたりして助けられました。隣国ですが、こんなに日本語が通じるのかという驚きがあつた一方で、日本は外国人観光客や日本語が話せない人にとって過ごしやすい国になっているのかにも興味が出てきました。

また、上手く韓国語が話せなくとも、英語を交えたり、身振り手振りを使ったり、コミュニケーションをとる工夫をする大切さを実感しました。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

大統領の弾劾の件もあり、政治的な状況やニュースには目を配っていました。健康面に関しては受けておいた方がよい予防接種を調べたり、医薬品を持参したりしました。講義時や旅行会社からもかなり事前説明があり、安心しました。日本と韓国との関係から日本人はどう思われているのかと少し心配していましたが、特に問題なく過ごせました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                      | おおよその額   | 備考             | 支払方法       |
|-------------------------|----------|----------------|------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険          | 11万円     |                | 振込         |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費） | 124,000円 | = 1250,000 ウォン | 国立木浦大学校へ支払 |
| 各自での食費                  | 8,000円   | = 80,000 ウォン   | 現金 8万円     |
| 各自での交通費                 | 3,000円   | = 30,000 ウォン   |            |
| その他（小遣い）                | 4万円      | = 400,000 ウォン  | 現金 5万円     |
| 計                       | 285,000円 |                |            |

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

現地の学生さんと数日間にわたって交流することができ、いろいろな話をしたり、一緒に体験をしたりできて、とても楽しく為になる研修でした。講師の方、学生の方と幅広い年代の方と交流が持てたのもこの研修の魅力だと思います。

現地の大学で講義を受けられるのも非常に楽しく、また市街や史跡、博物館などを見て回れ、ホームステイの機会もあって非常に充実した研修でした。

12日間という期間も初めての海外留学としては丁度良い長さに感じました。

# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2017年 3月

所属 & 学年 | 理学部 1年生

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 科目名      | 東アジアにおける文化・海外研修    |
| 海外研修先    | 大韓民国：国立木浦大学校、延世大学校 |
| 海外での学習期間 | 2017年2月19日～3月2日    |

## 1. 履修のきっかけや動機

もともと韓国のファッションやコスメ、ミュージックに興味があり、大学の第二言語として韓国語を学んでいたから。また韓国への観光旅行とは違い、普段なら行けないような場所を訪れたり、今の流行だけでなく歴史を学ぶことができたり、韓国の大学訪問や現地の学生と接する機会があることを魅力的に感じたから。

## 2. 名古屋での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

現地でプレゼン発表を行うためにテーマであった着物について詳しく調べ、自国の文化について改めて学ぶことが多かった。また日本と韓国の伝統衣装を比較し、違いや共通点を探することで異文化理解にも繋がった。さらにプレゼン原稿を英語に訳す段階で、どう表現すれば相手に伝わりやすいか、どんなレイアウトであれば流れがわかって見やすいかなど工夫を凝らす中で、今後必ず必要になってくるプレゼン能力を高めることができたように思う。また研修前の準備や現地研修を通して、人前で自分の考えを発表したり、率先して行動する力を身につけ、役職を自ら進んで引き受けたことで責任感が強くなったように感じる。

## 3. 海外研修中での生活で学んだこと

韓国は日本から最も近い外国であり、もちろん言語や食文化に違いはあるものの、共通点の多い国だと考えていたので、思った以上に生活文化に違いがあり驚いた。中でも特に、韓国では自宅でもユニットバスが基本だということが驚きだった。実際に韓国的一般家庭にホームステイの経験をさせてもらったことでネットの情報などでは知ることのできない基本的な生活の部分での日本の違いについて知ることができた。食事のマナーとして日本では器を持って食べることが当然で箸は横に並べるが、韓国ではその逆で、器は持たず利き手と逆の手は膝の上に置き、箸は縦に並べるのが普通だった。韓国人が日本に来て、日本人が韓国に行っても、このマナーを知らなければ失礼にあたるので、ぜひ知り合いに教えたいと思った。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

日本にいるときは危機管理にそれほど注意を向けておらず、財布を手を持ったまま外を歩いたり、一人で夜道を歩いた経験があるが、危険の事前察知を心がけ、渡航中は決められたルールや忠告に従い、危ないと思われることは事前に避けるようにした。具体的な行動としては、現金はいくつかに分けて持ち歩く、決して一人で行動しない、安否情報を先生に逐一報告する、客引きなどの勧誘は無視する、などである。韓国は治安の面で日本と大差があるわけではないが、何かトラブルに巻き込まれそうになったとき言葉が通じないので、日本にいるときより慎重に行動するようにした。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳                          | おおよその額 | 備考        | 支払方法       |
|-----------------------------|--------|-----------|------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険              | 6万6千円  |           | 振込         |
| 滞在費（授業料・宿泊費・食費・<br>交通費・通信費） | 10万円   | = 100万ウォン | 国立木浦大学校へ支払 |
| 各自での食費                      | ?円     | = ? ウォン   |            |
| 各自での交通費                     | ?円     | = ? ウォン   |            |
| その他（小遣い）                    | 5万円    | = 50万ウォン  |            |
| 計                           | 21万6千円 |           |            |

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

大学訪問で韓国人の学生と友達になれたことが今回の研修で一番大きい成果だと思うので、韓国に行ったことのある人にもお勧めする研修です。